

東地区を対象に小学校の 統合に関する説明会を開催

き

らくやまふれあいの丘すこやか福祉館で8月2日、東地区の皆さんを対象に、説明会を開催しました。

ご意見は趣旨を踏まえて要約しています。

【主な質疑応答など】

市民：地域としては、教育面だけではくれないので、東小学校が創立された歴史的な背景を踏まえた上で、今後の統合を進



きらくやまふれあいの丘で行った説明会の様子

めていただきたい。また、当時、分校から本校に児童が通うようになった時に、やはりケンカがあったと聞いている。そういった経緯をしっかりと捉えて対策を考えてほしい。

市：学校の歴史については、東小学校も板橋小学校も、新しい学校へしっかりと引き継いでいきます。集団の中に入っていく児童の不安対策については、新しい学校へ、現在の先生方を配置するなどして、学校と教育委員会が連携して、迅速かつ、丁寧に子ども達の心のケアをしていきます。

市民：スクールバスの無償化について、板橋小学校の関東鉄道バスやコミュニティバスを利用してはいる児童も、無償化の対象になるのか。また、体操服は、家計への負担から、卒業するまでは既存校のものを着用しては駄目か。

市：関東鉄道バスおよびコミュニティバスを利用する児童についても、スクールバスと同じ条件とすることで進めています。体操服については、統合後も、

問 教育委員会適正配置推進室
☎ 58・2111 (内線7106
・7107)

今着ている体操服を引き続き使ってもらい、買い替えのタイミングで新しい体操服を購入していただくことで進めています。市民：スクールバスの乗車基準の「徒歩通学距離2.5キロ以上」というのはどのような基準でできたのか。

市：現在、当市の遠距離通学に関する補助要綱の距離基準は3キロとしていますが、今回、統合準備委員会の総務部会での協議の中で、2.5キロという基準が提案され、統合準備委員会が承認したものです。

市民：今後、統合の式典などがあるのであれば、両校の成り立ちや写真・エピソードなどを集めた冊子を配ってはどうか。地域の皆様の想いが繋がれば、理解されやすくなる。(提案)

市民：跡地利用について他自治体では、空き教室やプールを活かして特産品を開発している事例もあったので、そのような事業ができれば良いと思う。(提案)